

		第一選択	第二選択
医学的区分	高コレステロール血症(家族性含)	ロスバスタチン OD錠	アトルバスタチン OD錠

※1参考ガイドライン:①動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022②成人家族性高コレステロール血症診療ガイドライン2022③脳卒中治療ガイドライン2021④JCS ガイドラインフォーカスアップデート版安定冠動脈の診断と治療2022⑤スタチン不耐に関する治療指針2018

その他選択薬
プラバスタチン Na錠

## 【詳細】

### ◎第一選択薬について

- ★ロスバスタチン:①各種ガイドラインでの推奨度が高いストロングスタチンである。心血管リスクが高い患者、心血管疾患の二次予防に推奨される。  
 ②LDL-C の低下や冠動脈プラークの縮小が大きい(アトルバスタチンとの比較)③他剤と比較し安価で OD錠がある。  
 ④欧米では「心血管疾患の予防」適応+

### ◎第二選択薬について

- ★アトルバスタチン:①ロスバスタチンに次いで LDL-C 低下作用が強い②ロスバスタチンと同様に欧米では「心血管疾患の予防」適応+  
 ③糖尿病患者へ唯一使いにくい①②の視点よりロスバスタチンの次点のストロングスタチンとなり得る

### ◎その他の選択薬について

- ☆プラバスタチン Na:①レギュラースタチン(シンバスタチン、プラバスタチン、フルバスタチン)は適応についても差が無く他にも明確な差はない。  
 ②院内は薬価の面よりプラバスタチン Na を推奨する。ただしロスバスタチンよりも薬価は高い③ストロングスタチンと比較し LDL-C の低下は少ないが安全面で差異はない。

HMG-CoA 還元酵素阻害剤(スタチン)・桜ヶ丘院内フォーミュラー

	ロスバスタチン	アトルバスタチン	ピタバスタチン (院外移行)	プラバスタチン	シンバスタチン (院外移行)
剤形・力価	OD錠2.5mg/5mg 「サワイ」	OD錠5mg/10mg 「トーフ」	OD錠1mg/2mg 「トーフ」	錠10mg 「サワイ」	錠5mg 「YD」
薬価(円/錠)	8.6/10.7	10.1/17.9	10.7/19.9	17.1	20.3
スタチン分類	ストロング	ストロング	ストロング	レギュラー	レギュラー
用法用量(成人) ※1	1日1回 (服用時点制限なし)	1日1回 (服用時点制限なし)	1日1回 (服用時点制限なし)	1日1回夕食後 1日2回の分割投与可	1日1回夕食後
主な共通の副作用	「横紋筋融解症」「ミオパチー」「肝障害」「黄疸」				
DM患者への投与	—	慎重投与	—	—	—
相互作用	—	—	少ない	少ない	—
妊婦への投与/授乳	全て妊婦へは禁忌/授乳は禁止				
代謝経路等※2	水溶性 各種様々なCYPが関与 していると推定	脂溶性 CYP3A4	脂溶性 CYPではほとんど代謝さ れない	水溶性 CYPでは代謝されない	脂溶性 CYP3A4
海外承認状況	米国・英国	米国・英国	米国	米国・英国	米国・英国
その他の適応症	冠動脈疾患等の 「心血管疾患予防」	冠動脈疾患等の 「心血管疾患予防」	10歳以上の小児に対する 「家族性高コレステロール 血症」	冠動脈疾患等の 「心血管疾患予防」	冠動脈疾患等の 「心血管疾患予防」

【注釈】

※2:成人に対しいずれも「高コレステロール血症」「高脂血症」「家族性コレステロール血症」の適応を有し代替はいずれも可能。

※3:脂溶性スタチンはCYPで代謝される薬剤との併用で横紋筋融解症を発症した症例が多数存在するため注意が必要である。

※:LDL-Cの低下作用比較 レギュラースタチンよりも同用量以下のストロングスタチンの方が有意に低下させる

